

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC299	日本史特講I-A	1	1.0	1・2					古代の法制史料を精読し、律令制研究に必要な史料の活用方法を習得する。令の注釈書である『令集解』のテキスト読解と、それを踏まえた制度の成立過程の追究などを行う。具体的には、律令国家の人民・国土支配にかかわる戸令・田令・賦役令の条文を読み進めていく。	西暦奇数年度開講。 0ABACA0と同一。 対面
02DC300	日本史特講I-B	1	1.0	1・2					古代の法制史料を精読し、律令制研究に必要な史料の活用方法を習得する。令の注釈書である『令集解』のテキスト読解と、それを踏まえた制度の展開過程の追究などを行う。具体的には、律令国家の人民・国土支配にかかわる戸令・田令・賦役令の条文を読み進めていく。	西暦奇数年度開講。 0ABACA1と同一。 対面
02DC301	日本史特講II-A	1	1.0	1・2	春AB	月4,5		山澤 学	本特講では、神社の祭祀・組織を中心とした日本宗教社会史研究における基礎的知識と研究方法を修得する。また、文献史料を読解する能力の向上にも努める。具体的には、京都の北野天満宮(北野神社)の祭祀・組織を事例として、先行研究の検討をふまえ、未公開であり、くずし字で記されている神社史料(筑波大学所蔵北野神社文書「明和度遷宮記」)の写真版を講読し、日本宗教社会史研究における基礎的知識と研究方法を講ずる。必要に応じて履修者には史料読解に基づく報告も求める。	西暦偶数年度開講。 0ABACA2と同一。 隔週開講。対面
02DC302	日本史特講II-B	1	1.0	1・2	秋AB	月4,5	人社B717	山澤 学	本特講では、神社の祭祀・組織を中心とした日本宗教社会史研究における基礎的知識と研究方法を修得する。文献史料を読解する能力の向上に努めつつ、論文作成に向けての視点を考察する。具体的には、京都の北野天満宮(北野神社)遷宮に参与する諸身分とその組織を事例として、先行研究の検討をふまえ、未公開であり、くずし字で記されている神社史料(筑波大学所蔵北野神社文書「就仮遷宮潔斎中雜録」)の写真版を講読し、日本宗教社会史研究における基礎的知識と研究方法を講じつつ、論文作成に向けての視点を検討する。必要に応じて履修者には史料読解に基づく報告も求める。	西暦偶数年度開講。 0ABACA3と同一。 隔週開講。対面
02DC303	日本史特講III-A	1	1.0	1・2					日本近代思想史について講義する。主として日記史料を扱う。	西暦奇数年度開講。 0ABACA4と同一。 対面
02DC304	日本史特講III-B	1	1.0	1・2					日本近代思想史について講義する。日記史料から歴史像を描き出す。	西暦奇数年度開講。 0ABACA5と同一。 対面
02DC305	日本史特講IV-A	1	1.0	1・2	春AB	木3,4		朴 宣美	近代日本における女子高等教育の発展、近代的なジェンダー意識の形成と変容などについて考察する。社会文化史・ジェンダー史を考察する視点の習得を目標とする。	西暦偶数年度開講。 0ABACA6と同一。 隔週開講。対面
02DC306	日本史特講IV-B	1	1.0	1・2	秋AB	木3,4		朴 宣美	朝鮮における女子高等教育の発展、近代的なジェンダー意識の形成と変容などについて考察する。特に近代日本との比較を行い、近現代東アジアにおける社会文化史・ジェンダー史を考察する比較の視点の習得を目標とする。	西暦偶数年度開講。 0ABACA7と同一。 隔週開講。対面
02DC307	日本史特講V-A	1	1.0	1・2	春AB	火5		田中 友香理	明治～昭和期の原史料を精読し、日本史学の基礎領域である史料学について、とくに私文書に着目し、独自の領域を確立することを目指す。	西暦偶数年度開講。 0ABACA8と同一。 対面
02DC308	日本史特講V-B	1	1.0	1・2	秋AB	火5		田中 友香理	明治～昭和期の原史料を精読し、日本史学の基礎領域である史料学について、とくに私文書に着目し、独自の領域を確立することを目指す。秋学期はその実践に重点を置く。	西暦偶数年度開講。 0ABACA9と同一。 対面
02DC309	日本史演習I-A	2	1.0	1・2	春AB	火3		三谷 芳幸	古代の法制史料を精読し、律令制研究に必要な史料読解の方法を習得する。令の注釈書である『令集解』のテキスト読解と、それを踏まえた日中の制度比較などを行う。具体的には、律令国家の人民支配にかかわる戸令の条文を読み進めていく。戸令全体の解説のあと、戸令9五条(家の相互検察や人の移動の把握)以降の各条を講読し、最後にその成果を総括する。	西暦偶数年度開講。 0ABACB0と同一。 対面
02DC310	日本史演習I-B	2	1.0	1・2	秋AB	火3		三谷 芳幸	古代の法制史料を精読し、律令制研究に必要な史料読解の方法を習得する。令の注釈書である『令集解』のテキスト読解と、それを踏まえた日中の制度比較などを行う。具体的には、律令国家の人民支配にかかわる戸令の条文を読み進めていく。戸令全体の解説のあと、戸令11給侍(子孫・近親による高齢者介護)以降の各条を講読し、最後にその成果を総括する。	西暦偶数年度開講。 0ABACB1と同一。 対面

02DC311	日本史演習II-A	2	1.0	1・2						本演習では、近世史料を講読しつつ、神社の祭祀・組織を中心とした日本宗教社会史研究における基礎的知識と研究方法を修得する。具体的には、京都の北野天満宮(北野神社)における祭祀・組織を事例とし、先行研究の検討をふまえ、未公刊であり、くずし字で記されている神社史料(筑波大学所蔵北野神社文書「就仮遷宮深齋中難録」)の写真版を読解し、日本宗教社会史研究における基礎的知識を修得しつつ、その研究方法を検討する。	西暦奇数年度開講。 0ABACB2と同一。 隔週開講。対面	
02DC312	日本史演習II-B	2	1.0	1・2						本演習では、近世史料を講読し、神社の祭祀・組織を中心とした日本宗教社会史研究における基礎的知識と研究方法を修得しつつ、論文作成能力を醸成する。具体的には、京都の北野天満宮(北野神社)遷宮に参与する祭祀・組織に注目し、先行研究の検討をふまえ、未公刊であり、くずし字で記されている神社史料(筑波大学所蔵北野神社文書の享保19・20年仮遷宮記)を読解し、日本宗教社会史研究における基礎的知識を学びつつ研究方法を検討し、論文作成に向けての視点を考察する。	西暦奇数年度開講。 0ABACB3と同一。 隔週開講。対面	
02DC313	日本史演習III-A	2	1.0	1・2	春AB	火2			中野目 徹	日本近代思想史の課題と方法について、史料の発掘・整理とその解釈をふまえて検討する。	0ABACB4と同一。 対面	
02DC314	日本史演習III-B	2	1.0	1・2	秋AB	火2			中野目 徹	日本近代思想史の課題と方法について、史料の整理と検索手段の作成をふまえて検討する。	0ABACB5と同一。 対面	
02DC315	日本史演習IV-A	2	1.0	1・2						近代日本における「他者認識」・アジア認識に関する先行研究への「テキスト批判」を行う。日本の研究を中心に上げつつ、ほかのアジアにおける研究との比較を行う。このテーマに対する研究史的考察ができることを目標とする。	西暦奇数年度開講。 0ABACB6と同一。 隔週開講。対面	
02DC316	日本史演習IV-B	2	1.0	1・2						近代東アジアにおける「他者認識」・アジア認識に関する先行研究への「テキスト批判」を行う。韓国を中心に、日本における先行研究との比較を視野に入れながら、先行研究の問題意識や論点、研究史的な位置づけなどを明らかにすることを目標とする。	西暦奇数年度開講。 0ABACB7と同一。 隔週開講。対面	
02DC317	日本史基礎実習-1	3	2.0	1・2	秋ABC				中野目 徹, 長尾宗典, 三谷 芳幸, 山澤 学, 田中 友香理, 朴 宣美	日本史研究の基礎的な方法論を修得するため、実際に調査・観察するフィールドワークを行う。受講者は、日本史学領域全教員による通史的視野に立った指導を受けつつ、具体的な調査地を設定し、事前に調査地および日本史学研究者として身につけるべき調査の技能を学んだ上で、集中形式で調査地におけるフィールドワークを実施していく。これらを通じて、研究倫理をふまえ、協同して行う史料閲覧・撮影、聞き取り調査、景観観察等の技術を修得する。	西暦偶数年度開講。 0ABACB8と同一。 対面	
02DC318	日本史研究法実習-1	3	2.0	1・2						日本史学研究の専門的な方法論を修得するため、実際に調査・観察するフィールドワークを行い、日本史学研究の専門的素養である実踏調査の方法と問題点を検討する。受講者は、日本史学領域全教員による通史的視野に立った指導を受けつつ、事前に調査地に関する学修およびその成果の報告を行った後に、集中形式で調査地におけるフィールドワークを協同して行う。その上で、史料閲覧・撮影、聞き取り調査、景観観察など、専門的調査における方法・問題点を考察し、研究倫理を含む日本史学研究者として必要な姿勢を体得していく。	西暦奇数年度開講。 0ABACB9と同一。 対面	
02DC397	東洋史研究演習III A	2	1.5	5	春ABC			応談	人社 B817	上田 裕之, 山本真, 岩田 啓介	5年次生を対象とする春学期の研究演習。博士論文提出に関する、各段階での具体的な指導を行う。	対面
02DC398	東洋史研究演習III B	2	1.5	5	秋ABC			応談	人社 B817	上田 裕之, 岩田 啓介	5年次生を対象とする秋学期の研究演習。博士論文提出に関する各段階での具体的な指導を行う。	対面
02DC403	東洋社会文化史I-A	2	1.0	1・2	春AB	火5					中国明清時代の少数民族社会における道教の受容の歴史について、写本資料を講読しながら理解を深めその意義を講義する。清末広西のランテン系ヤオ族社会で使用された『太齋秘語』を講読し、道教写本の研究手法、明清道教史、道教の多元性、漢族と少数民族の道教の異同を論じる方法を検討する。特に死者儀礼における身体の再生の部分をつかひ、儀礼的枠組みの大きな共通性と生命論の解釈の民族的・地域的独自性を検討する。	西暦偶数年度開講。 01DQ399, 0ABACD0と同一。 対面
02DC404	東洋社会文化史I-B	2	1.0	1・2	秋AB	火5					中国南宋時代の社会において行われた道教儀礼を取り上げ、儀礼文献の解読と分析を交えながら講義する。この授業では13世紀の金允中『上清靈宝大宝法』巻16黄録次序品、巻22臨壇符法品により、道教儀礼の構造と主要な儀礼項目内容を検討し、文献資料に現れる語彙、構文、意味について習熟し、宋代を軸とする中国社会における道教儀礼の理解を深める。	西暦偶数年度開講。 01DQ400, 0ABACD1と同一。 対面

02DC405	東洋社会文化史II-A	2	1.0	1・2						中国南宋時代の社会において行われた道教儀礼を取り挙げ、儀礼文献の解説と分析を交えながら講義する。この授業では13世紀の金允中『上清靈宝大宝法』巻37水火鍊度品、巻44鍊度により、道教の死者儀礼に見られる死者への働きかけ、特に鍊度と説成について考察を加える。同時代の王契真『上清靈宝大法』、蔣叔興『無上黄録大齋立成儀』などとの比較も行い、宋代を軸とする中国社会における道教儀礼の理解を深める。	西暦奇数年度開講。 0ABACD2と同一。 対面
02DC406	東洋社会文化史II-B	2	1.0	1・2						中国清時代の18世紀後半から19世紀前半における道教の実態について、『道蔵輯要』所収の呂祖經典である『玉清贊化九天演政心印集経』、『玉清贊化九天演政心印宝懺』、『九皇新経註解』を取り挙げ、部分的に講読しながら、清朝道教史をその独自の発展や活力の視点から捉え直すことを試みる。儒教、道教の典籍を当時の道教界に属した知識人と同次元で理解することにより、民間社会における宗教の力量について考察する。	西暦奇数年度開講。 0ABACD3と同一。 対面
02DC407	東洋政治経済史I-A	2	1.0	1・2	春AB	火3		山本 真		1~2年次生を対象とする。中国の近代史について、特に政治史の重要な先行研究を履修者とともに講読する。テキストでは中国語、日本語、英語の文献を採用する。受講者は輪番でレジュメを作成し、それに基づき参加者全員で議論を行いたい。	西暦偶数年度開講。 01DQ365、0ABACD4と同一。 対面
02DC408	東洋政治経済史I-B	2	1.0	1・2	秋AB	集中				1~2年次生を対象とする。中国の現代史について、特に政治史の重要な先行研究を履修者とともに講読する。テキストでは中国語、日本語、英語の文献を採用する。受講者は輪番でレジュメを作成し、それに基づき参加者全員で議論を行いたい。	西暦偶数年度開講。 01DQ366、0ABACD5と同一。 対面
02DC409	東洋政治経済史II-A	2	1.0	1・2						1~2年次生を対象とする。中国の近代史について、特に社会経済史の重要な先行研究を履修者とともに講読する。テキストでは中国語、日本語、英語の文献を採用する。受講者は輪番でレジュメを作成し、それに基づき参加者全員で議論を行いたい。	西暦奇数年度開講。 0ABACD6と同一。 対面
02DC410	東洋政治経済史II-B	2	1.0	1・2						1~2年次生を対象とする。中国の現代史について、特に社会経済史の重要な先行研究を履修者とともに講読する。テキストでは中国語、日本語、英語の文献を採用する。受講者は輪番でレジュメを作成し、それに基づき参加者全員で議論を行いたい。	西暦奇数年度開講。 0ABACD7と同一。 対面
02DC411	東洋史史料研究I-A	2	1.0	1・2	春AB	金6	人社 B817	上田 裕之		清代雍正年間から乾隆20年までの錢法について解説した上で、当該時期の錢法に関する檔案史料を受講生全員で講読し、官撰書の記載内容と比較しながら、檔案史料から読み取れる事実関係について議論する。講読する史料は、『雍正朝内閣六科史書戸科』『内閣題本戸科貨幣類』『明清檔案』『宮中檔硃批奏摺財政類』『宮中檔雍正朝奏摺』『宮中檔乾隆朝奏摺』『議覆檔』『大清歷朝実録』『皇朝文献通考』『欽定大清会典事例』など。	西暦偶数年度開講。 0ABACD8と同一。 対面
02DC412	東洋史史料研究I-B	2	1.0	1・2	秋AB	金6	人社 B817	上田 裕之		清代雍正年間から乾隆20年までの銅政について解説した上で、当該時期の銅政に関する檔案史料を受講生全員で講読し、官撰書の記載内容と比較しながら、檔案史料から読み取れる事実関係について議論する。講読する史料は、『雍正朝内閣六科史書戸科』『内閣題本戸科貨幣類』『明清檔案』『宮中檔硃批奏摺財政類』『宮中檔雍正朝奏摺』『宮中檔乾隆朝奏摺』『議覆檔』『大清歷朝実録』『皇朝文献通考』『欽定大清会典事例』など。	西暦偶数年度開講。 0ABACD9と同一。 対面
02DC413	東洋史史料研究II-A	2	1.0	1・2						清代乾隆21~60年の錢法について解説した上で、当該時期の錢法に関する檔案史料を受講生全員で講読し、官撰書の記載内容と比較しながら、檔案史料から読み取れる事実関係について議論する。講読する史料は、『雍正朝内閣六科史書戸科』『内閣題本戸科貨幣類』『明清檔案』『宮中檔硃批奏摺財政類』『宮中檔雍正朝奏摺』『宮中檔乾隆朝奏摺』『議覆檔』『大清歷朝実録』『皇朝文献通考』『欽定大清会典事例』など。	西暦奇数年度開講。 0ABACE0と同一。 対面
02DC414	東洋史史料研究II-B	2	1.0	1・2						清代乾隆21~60年の銅政について解説した上で、当該時期の銅政に関する檔案史料を受講生全員で講読し、官撰書の記載内容と比較しながら、檔案史料から読み取れる事実関係について議論する。講読する史料は、『雍正朝内閣六科史書戸科』『内閣題本戸科貨幣類』『明清檔案』『宮中檔硃批奏摺財政類』『宮中檔雍正朝奏摺』『宮中檔乾隆朝奏摺』『議覆檔』『大清歷朝実録』『皇朝文献通考』『欽定大清会典事例』など。	西暦奇数年度開講。 0ABACE1と同一。 対面

02DC41A	東洋民族社会史I-A	2	1.0	1・2	春AB	木4		岩田 啓介	17世紀後半から18世紀前半にかけて清朝とモンゴル・チベットの有力者との間で取り交わされた文書を収録する『清内閣蒙古堂檔』所収の満洲語の檔案を受講生全員で講読する。また、特に18世紀前半に清朝がモンゴルへの統治を拡大する中で、清朝のモンゴル政策が、現地社会の動向とどのように関連していたのかを議論する。	西暦偶数年度開講。 0ABACE2と同一。 対面
02DC41B	東洋民族社会史I-B	2	1.0	1・2	秋AB	木4	人社 A722	岩田 啓介	清朝の康熙年間(1661-1722)における奏摺を収録する「康熙朝満文硃批奏摺」から、特に18世紀初頭のチベット政策に関する満洲語の奏摺を受講生全員で講読する。そして、18世紀前半に清朝がチベットへの影響力を拡大する中で、清朝のチベット政策がいかにして策定され、それがダライ=ラマ政権の対外政策とどのように関連していたのかを議論する。	西暦偶数年度開講。 0ABACE3と同一。 対面
02DC41C	東洋民族社会史II-A	2	1.0	1・2					18世紀前半に清朝とモンゴル・チベットの有力者との間で取り交わされた『清内閣蒙古堂檔』所収の満洲語の檔案、ならびに『宮中檔雍正朝奏摺』所収の満洲語の奏摺から、清朝とモンゴル・チベットの境界地帯に関する史料を受講生全員で講読する。そして、18世紀前半に清朝が内陸アジアへと拡大する中で、境界地帯の社会における政治的動向が清朝の政策とどのように関連していたのかを議論する。	西暦奇数年度開講。 0ABACE4と同一。 対面
02DC41D	東洋民族社会史II-B	2	1.0	1・2					『軍機処満文準噶爾使者檔訳編』『清代軍機処満文熬茶檔』所収の満洲語史料を講読し、18世紀前半における内陸アジア情勢の動向と清朝のモンゴル政策、チベット政策の関連について議論する。	西暦奇数年度開講。 0ABACE5と同一。 対面
02DC507	古代西アジア史研究特講I-A	2	1.0	1・2					古代メソポタミアの歴史記述について体系的に学び、古代メソポタミアの人々の歴史観の変遷を考察する。楔形文字の原典から古代メソポタミアの種々の歴史文書を文献学的に正確に読み、その内容について考察する。この授業では特にシュメルとバビロニアの碑文を講読する。	西暦奇数年度開講。 0ABACF0と同一。 対面
02DC508	古代西アジア史研究特講I-B	2	1.0	1・2					古代メソポタミアの歴史記述について体系的に学び、古代メソポタミアの人々の歴史観の変遷を考察する。楔形文字の原典から古代メソポタミアの種々の歴史文書を文献学的に正確に読み、その内容について考察する。	西暦奇数年度開講。 0ABACF1と同一。
02DC509	古代西アジア史研究特講II-A	2	1.0	1・2	春AB	応談		柴田 大輔	シュメル語初級文法の概要を学ぶ。紀元前22～20世紀(グデア王朝時代・ウル第三王朝時代・イシン王朝時代)におけるいわゆる「古典シュメル語」の特性に焦点を絞り、文法概要の説明と練習問題の実施を交互させながら、音韻論、正字法、名詞句、動詞語幹と名詞形、格、代名詞、定動詞の活用、動詞と名詞の関わり方、法性・否定・接続の順番で学習する。	西暦奇数年度開講。 0ABACF2と同一。 対面
02DC510	古代西アジア史研究特講II-B	2	1.0	1・2	秋AB	応談		柴田 大輔	シュメル語の読解能力を習得するとともに、紀元前三千年紀の楔形文字書体を学習し、原史料の読解に基づく古代西アジア史研究についての理解を深める。ウル第三王朝期の碑文、グデア王朝期の碑文、ウル第三王朝期の法文書の中から、言語の習得に適切な平易なサンプルを選び、講読する。	西暦奇数年度開講。 0ABACF3と同一。 対面
02DC511	ヨーロッパ・アメリカ史研究特講I-A	2	1.0	1・2					第2次世界大戦前のイギリスおよび旧イギリス帝国圏の歴史についての論集を講読する。必要に応じて、受講生による発表を課す。	西暦奇数年度開講。 01DQ227, 0ABACF4と同一。 対面
02DC512	ヨーロッパ・アメリカ史研究特講I-B	2	1.0	1・2					第2次世界大戦後のイギリスおよび旧イギリス帝国圏の歴史についての論集を講読する。必要に応じて、受講生による発表を課す。	西暦奇数年度開講。 01DQ228, 0ABACF5と同一。 対面
02DC513	ヨーロッパ・アメリカ史研究特講II-A	2	1.0	1・2					20世紀前半のアメリカ史に関する英語文献を読み、人種・エスニシティ、ジェンダー、階級をめぐる諸問題を検討する。	西暦奇数年度開講。 0ABACF6と同一。 対面
02DC514	ヨーロッパ・アメリカ史研究特講II-B	2	1.0	1・2					20世紀後半のアメリカ史に関する英語論文を読み、人種・エスニシティ、ジェンダー、階級をめぐる諸問題を検討する。	西暦奇数年度開講。 0ABACF7と同一。 対面
02DC515	ヨーロッパ・アメリカ史研究特講III-A	2	1.0	1・2					ヨーロッパ史研究に関連する外国語文献を複数読み込み、歴史研究の方法を習得することを旨とする。必要に応じて受講生には発表を課す。	西暦奇数年度開講。 01DQ223, 0ABACF8と同一。 対面
02DC516	ヨーロッパ・アメリカ史研究特講III-B	2	1.0	1・2					ヨーロッパ史研究に関連する外国語文献を複数読み込み、歴史研究の方法を習得することを旨とする。必要に応じて受講生には発表を課す。	西暦奇数年度開講。 01DQ224, 0ABACF9と同一。 対面
02DC556	歴史地理学研究演習III A	2	1.5	5	春ABC	応談	人社 B717	中西 僚太郎	5年次生段階に応じた歴史地理学の学位論文作成のための指導を行う。具体的な論文作成法を、主として内外の参考文献の紹介と討議を通して考える。	対面
02DC557	歴史地理学研究演習III B	2	1.5	5	秋ABC	応談	人社 B717	中西 僚太郎	5年次生段階に応じた歴史地理学の学位論文作成のための指導を行う。具体的な論文作成法を、各自の研究事例の発表と討議を通して考える。	対面

02DC562	歴史地理学特講-A	1	1.0	1・2	春AB	火3	人社 B817	中西 僚太郎	近年の英語圏における歴史地理学の研究動向について、英文のテキストを参照しながら、理解することを目的とする。取り上げるテーマは、歴史学と地理学の関係、土地と景観の歴史、人口と移動、国家と領域、環境と自然などである。	西暦偶数年度開講。 OABACH0と同一。 対面	
02DC563	歴史地理学特講-B	1	1.0	1・2	秋AB	火3	人社 B817	清水 克志	地方文書や古地図、地形図類などを素材として取り上げ、その検討を通して、歴史地理学の史料解析法や調査法を修得することを目的とする。	西暦偶数年度開講。 OABACH1と同一。 対面	
02DC564	歴史地理学演習-A	2	1.0	1・2					近代日本の地域形成に関わる歴史地理学的諸問題について、従来の研究成果の到達点について理解するとともに、様々な史料の活用方法を身に付けることが目的である。	西暦奇数年度開講。 OABACH2と同一。 対面	
02DC565	歴史地理学演習-B	2	1.0	1・2					日本の農山漁村の歴史地理学的諸問題に関して、従来の研究の到達点について理解し、今後の研究課題を見出す能力を身に付けるとともに、様々な史料の活用方法を身に付けることが目的である。	西暦奇数年度開講。 OABACH3と同一。 対面	
02DC566	歴史地理学実習I-A	3	2.0	1・2	春C夏季 休業中			応談	中西 僚太郎, 清水 克志	歴史地理学分野での学術論文・学術報告を作成できる調査能力を養うことを目的とする。特定地域をフィールドに選び、野外での観察や調査の方法を実地で指導する。具体的には、調査の計画立案から、自然景観および人文景観の観察、土地利用の調査、石造物の調査、建築物の調査、公文書ならびに私蔵文書史料の調査、聞き取り調査などの方法を実地で指導する。受講生の積極的・主体的な取り組みを重視し、フィールドでの学習の過程で、自ら問題を見出すこともねらいとする。	西暦偶数年度開講。 OABACH4と同一。 対面
02DC567	歴史地理学実習I-B	3	2.0	1・2	秋ABC			応談	中西 僚太郎, 清水 克志	歴史地理学における野外実習結果の分析方法とまとめ方を指導し、歴史地理学分野での学術論文・学術報告を作成できる能力を養うことを目的とする。具体的には、歴史地理学実習IAにおける自然景観・人文景観の観察、土地利用の調査、石造物の調査、建築物の調査、公文書ならびに私蔵文書史料の調査、聞き取り調査などの結果を、どのように分析・表現して、学術論文・学術報告としてまとめることができるのかを指導する。授業の最後に受講生は調査結果のレポートを作成して提出する。	西暦偶数年度開講。 OABACH5と同一。 対面
02DC568	歴史地理学実習II-A	3	2.0	1・2						歴史地理学分野での学術論文・学術報告を作成できる調査能力を養うことを目的とする。歴史地理学実習IAとは異なる地域をフィールドに選び、野外での観察や調査の方法を実地で指導する。具体的には、調査の計画立案から、自然景観および人文景観の観察、土地利用の調査、石造物の調査、建築物の調査、公文書ならびに私蔵文書史料の調査、聞き取り調査などの方法を実地で指導する。受講生の積極的・主体的な取り組みを重視し、フィールドでの学習の過程で、自ら問題を見出すこともねらいとする。	西暦奇数年度開講。 OABACH6と同一。 対面
02DC569	歴史地理学実習II-B	3	2.0	1・2						歴史地理学における野外実習結果の分析方法とまとめ方を指導し、歴史地理学分野での学術論文・学術報告を作成できる能力を養うことを目的とする。具体的には、歴史地理学実習IIAにおける自然景観・人文景観の観察、土地利用の調査、石造物の調査、建築物の調査、公文書ならびに私蔵文書史料の調査、聞き取り調査などの結果を、どのように分析・表現して、学術論文・学術報告としてまとめることができるのかを指導する。授業の最後に受講生は調査結果のレポートを作成して提出する。	西暦奇数年度開講。 OABACH7と同一。 対面
02DC576	歴史地理学研究実習-A	3	2.0	1 - 3	春C夏季 休業中			応談	中西 僚太郎, 清水 克志	博士後期課程段階に応じた歴史地理学分野での高度な学術論文・学術報告を作成できる調査能力を養うことを目的とする。特定地域をフィールドに選び、野外での観察や調査の方法を実地で指導する。具体的には、調査の計画立案から、自然景観および人文景観の観察、土地利用の調査、石造物の調査、建築物の調査、公文書ならびに私蔵文書史料の調査、聞き取り調査などの方法を実地で指導する。受講生の積極的・主体的な取り組みを重視し、フィールドでの学習の過程で、自ら問題を見出すこともねらいとする。	OBBADG6と同一。 対面
02DC577	歴史地理学研究実習-B	3	2.0	1 - 3	秋ABC			応談	中西 僚太郎, 清水 克志	博士後期課程段階に応じた歴史地理学における野外実習結果の分析方法とまとめ方を指導し、歴史地理学分野での高度な学術論文・学術報告を作成できる能力を養うことを目的とする。具体的には、歴史地理学研究実習Aにおける自然景観・人文景観の観察、土地利用の調査、石造物の調査、建築物の調査、公文書ならびに私蔵文書史料の調査、聞き取り調査などの結果を、どのように分析・表現して、学術論文・学術報告としてまとめることができるのかを指導する。授業の最後に受講生は調査結果のレポートを作成して提出する。	OBBADG7と同一。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC625	先史学・考古学研究I-A	2	1.0	1・2	春AB	月5		三宅 裕	狩猟採集民社会では、食料の分配など平等主義的な社会原理が強く働いていることが指摘されている。そこからどのように社会的不平等が生まれ、階層化社会が形成されるようになるのか、先史時代における社会的不平等の発生をテーマとした Flannery, K. and J. Marcus 2012 "The Creation of Inequality" をテキストとして、特に狩猟採集や農耕との関係、儀礼関係する建物や威信財について扱った章を読みながら理解を深める。さらに、各章の内容を題材にして、関連する文献にも触れながら幅広い観点から議論をおこなう。	西暦偶数年度開講。 0ABACJ0と同一。 対面
02DC626	先史学・考古学研究I-B	2	1.0	1・2	秋AB	月5		三宅 裕	平等主義的原理が強く働く狩猟採集民社会からどのようにして社会的不平等が発生していくのか、そのメカニズムについて先史時代の考古学的資料を基に考察を深めていく。特に、洞窟壁画や動産美術などの旧石器時代の芸術、シンボリズムや血縁的集団の形成と深い関係にある儀礼祭祀、狩猟採集民社会における定住化の問題、農耕と社会の階層化の関係、饗宴が果たした役割、公共建造物の出現、象徴的意味の付与された器物の生産など、それぞれのテーマが議論されている英文の論文を読み、それを基にした議論を通じて理解を深める。	西暦偶数年度開講。 0ABACJ1と同一。 対面
02DC627	先史学・考古学研究II-A	2	1.0	1・2					人類社会の適応戦略について幅広い視点から考察する先史学の方法と理論について理解を深める。狩猟採集社会の特徴について多方面から検討しているテキストを講読し、議論を通じて先史時代の社会について考察する。受講者がテキストの中から担当する文献を選び、その内容について発表した後、討論をおこない、それぞれのテーマに関する理解を深めていく。	西暦奇数年度開講。 0ABACJ2と同一。 オンライン(同時双方向型)
02DC628	先史学・考古学研究II-B	2	1.0	1・2					人類社会の適応戦略について幅広い視点から考察する先史学の方法と理論について理解を深める。初期農耕社会の特徴について多方面から検討しているテキストを講読し、議論を通じて先史時代の社会について考察する。テキストとして指定された論文を読み、受講者がその内容について発表し、それを受けて議論していく。	西暦奇数年度開講。 0ABACJ3と同一。 オンライン(同時双方向型)
02DC629	先史学・考古学研究III-A	2	1.0	1・2	春AB	木5		滝沢 誠	古墳時代は日本列島中央部における国家形成期と位置づけられ、各地域社会を横断する汎列島規模での重層的な政治構造が成立した時期と考えられる。この授業では、古墳の存在形態をめぐる従来の議論を批判的に検討しながら、古墳時代における政治構造の変遷とその特質について専門的知識を深めることを目標とする。毎回の授業では、古墳の存在形態をめぐるこれまでの議論とその問題点について、受講生1名が研究報告をおこなう。その内容を受けて教員による講義と全体での討議をおこない、古墳時代の政治構造を多角的かつ通時的に考察する。	西暦偶数年度開講。 0ABACJ4と同一。 対面
02DC630	先史学・考古学研究III-B	2	1.0	1・2	秋AB	木5		滝沢 誠	弥生時代から古墳時代にかけての社会変化を理解するにあたり、前方後円墳に代表される古墳がどのような経緯で成立したのかを明らかにすることは、きわめて重要な課題である。この授業では、各地に認められる弥生墳丘墓の実態を把握したうえで、古墳出現の歴史的意義について理解を深める。授業の前半で弥生墳丘墓の実態把握を進め、授業の後半で纏向型前方後円墳と東日本の前方後円墳について検討する。毎回の授業では、個別のテーマについて1名の受講生が研究報告をおこなう。その内容を受けて教員による講義と全体での討議をおこない、古墳出現の歴史的意義を考察する。	西暦偶数年度開講。 0ABACJ5と同一。 対面
02DC631	先史学・考古学研究IV-A	2	1.0	1・2					弥生時代には、拠点集落を中核とした地域社会の構造が典型的に認められるが、古墳時代になると、一般の集落から独立したかたちで首長居館が成立し、一般の集落は散在化する。この授業では、主に関東地方の事例分析にもとづきながら、古墳時代における地域社会の特質について理解を深める。古墳時代の居住域、墓域、生産域などにかかわる個別のテーマについて、毎回1名の受講生が研究報告をおこなう。その内容を受けて教員による講義と全体での討議をおこない、古墳時代における地域社会の構造的特質について考察する。	西暦奇数年度開講。 0ABACJ6と同一。 オンライン(同時双方向型)

02DC632	先史学・考古学研究IV-B	2	1.0	1・2					古墳時代の考古資料には、近畿地方の政治勢力とのかかわりを示すものとは別に、特定の地域にのみ分布する考古資料も少なからず存在する。この授業では、そうした地域的偏在性を示す考古資料を取り上げて、古墳時代の地域色とその背景について理解を深める。 地域的偏在性を示す古墳時代資料のうち、東海地方と関東地方の事例を取り上げて、毎回1名の受講生が研究報告をおこなう。その内容を受けて教員による講義と全体での討議をおこない、古墳時代の地域色について考察する。	西暦奇数年度開講。 OABACJ7と同一。 オンライン(同時双方向型)
02DC633	先史学・考古学研究V-A	2	1.0	1・2	春AB	金3		谷口 陽子	先史学研究に求められる材質分析、製作技法の解明、年代測定、産地推定、古環境復元といった考古学、考古化学に関する理論と実践について、それぞれの原理と課題について理解を深めることを目的とする。その上で、それらの成果から導き出される先史学・考古学的な解釈を含んだ最新の論文等を読解し、幅広い視点からその結果および課題を考察する。受講生の研究テーマを考慮のうえ、いくつかの特定の時代および地域に注目し、とくに産地推定に関する最新の学術論文を選択する。論文中に利用されている分析手法の理論を理解したうえで、内容を読解、考察しながらその方法論と課題について検討する。各回のテーマについて、毎回1名の受講生が理論についてまとめ、次に、結果の解釈・課題について研究報告をおこなう。つづいて、その内容について全体で討議をおこなう。	西暦偶数年度開講。 OABACJ8と同一。 オンライン(同時双方向型)
02DC634	先史学・考古学研究V-B	2	1.0	1・2	秋AB	金3		谷口 陽子	先史学研究に求められる材質分析、製作技法の解明、年代測定、産地推定、古環境復元といった考古学、考古化学に関する理論と実践について、それぞれの原理と課題について理解を深めることを目的とする。その上で、それらの成果から導き出される先史学・考古学的な解釈を含んだ最新の論文等を読解し、幅広い視点からその結果および課題を考察する。受講生の研究テーマを考慮のうえ、いくつかの特定の時代および地域に注目し、とくに年代測定に関する最新の学術論文を選択する。論文中に利用されている分析手法の理論を理解したうえで、内容を読解、考察しながらその方法論と課題について検討する。各回のテーマについて、毎回1名の受講生が理論についてまとめ、次に、結果の解釈・課題について研究報告をおこなう。つづいて、その内容について全体で討議をおこなう。	西暦偶数年度開講。 OABACJ9と同一。 対面
02DC635	先史学・考古学研究VI-A	2	1.0	1・2					先史学研究に求められる材質分析、製作技法の解明、年代測定、産地推定、古環境復元といった考古学、考古化学に関する理論と実践について、それぞれの原理と課題について理解を深めることを目的とする。その上で、それらの成果から導き出される先史学・考古学的な解釈を含んだ最新の論文等を読解し、幅広い視点からその結果および課題を考察する。受講生の研究テーマを考慮のうえ、いくつかの特定の時代および地域に注目する。とくに材質分析に関する最新の学術論文を選択し、そこに利用されている分析手法の理論を理解する。選択した論文を読解、考察しながらその方法論と課題について検討する。各回のテーマについて、毎回1名の受講生が理論についてまとめ、次に、結果の解釈・課題について研究報告をおこなう。つづいて、その内容について全体で討議をおこなう。	西暦奇数年度開講。 OABACK0と同一。 対面
02DC636	先史学・考古学研究VI-B	2	1.0	1・2					先史学研究に求められる材質分析、製作技法の解明、年代測定、産地推定、古環境復元といった考古学、考古化学に関する理論と実践について、それぞれの原理と課題について理解を深めることを目的とする。その上で、それらの成果から導き出される先史学・考古学的な解釈を含んだ最新の論文等を読解し、幅広い視点からその結果および課題を考察する。受講生の研究テーマを考慮のうえ、いくつかの特定の時代および地域を設定する。とくに機器分析を用いた材質分析に関する最新の学術論文を選択し、そこに利用されている分析手法の理論を理解する。それらの論文を読解、考察しながらその方法論と課題について検討する。各回のテーマについて、毎回1名の受講生が理論についてまとめ、次に、結果の解釈・課題について研究報告をおこなう。つづいて、その内容について全体で討議をおこなう。	西暦奇数年度開講。 OABACK1と同一。 オンライン(同時双方向型)
02DC637	先史学・考古学基礎実習-1	3	4.0	1・2	秋B	集中		谷口 陽子, 滝沢 誠, 三宅 裕, 前田 修, 板橋 悠	発掘調査や測量調査などのフィールドワークに参加し、基本的な作業を修得することを目標とする。あわせて、フィールドワークに参加している学群生を指導し、調査指導者として必要な基礎的能力を養うことを目標とする。	OABACK2と同一。 対面

02DC63A	先史学・考古学研究 VII-A	2	1.0	1・2	春AB	火5		前田 修	考古学における技術の研究をテーマとし、過去における技術の実践に注目することで過去の社会へアプローチするための理論と方法論を学ぶ。社会学や文化人類学の研究も参照しながら、技術研究の歴史と最新の研究動向を理解する。履修生は、分担して日本語および英語の文献を講読し批評する。	西暦偶数年度開講。 OABACK3と同一。 対面
02DC63B	先史学・考古学研究 VII-B	2	1.0	1・2	秋AB	火5		前田 修	考古学における技術の研究をテーマとし、国内外の異なる時代の研究事例を取り上げ、技術の運用と社会の関係について、考古学においてどのような技術研究が可能かを学ぶ。履修生は、分担して日本語および英語の文献を講読し批評する。	西暦偶数年度開講。 OABACK4と同一。 対面
02DC63C	先史学・考古学研究 VIII-A	2	1.0	1・2					考古学における交易研究をテーマとし、過去の物資交易をあきらかにするための方法論に関して、その研究史と最新の研究動向を学ぶ。	西暦奇数年度開講。 OABACK5と同一。 対面
02DC63D	先史学・考古学研究 VIII-B	2	1.0	1・2					考古学における交易研究をテーマとし、国内外の研究事例を扱いながら、過去における物資交易と社会の関係について考察する。	西暦奇数年度開講。 OABACK6と同一。 対面
02DC64D	先史学・考古学研究実習-1	3	4.0	1-3	秋B	集中		谷口 陽子, 滝沢 誠, 三宅 裕, 前田 修	発掘調査や測量調査などのフィールドワークに主導的な立場で参加する。調査計画の立案から調査の円滑な遂行、調査成果の取りまとめまでの一連の方法を修得することを目標とする。あわせて、フィールドワークに参加している博士前期課程の大学院生及び学群生を指導し、調査指導者として必要な実践的能力を養うことを目標とする。	0BBADJ6と同一。 対面
02DC675	民俗学研究I A	2	1.5	3	春ABC	応談	人社 B717	武井 基晃, 徳丸 亜木, 中野 泰	3年次生を対象とする中級セミナー。博士論文のテーマ選定を目標として、論文執筆に関わる指導を行う。	対面(オンライン併用型)
02DC676	民俗学研究I B	2	1.5	3	秋ABC	応談	人社 B717	武井 基晃, 徳丸 亜木, 中野 泰	3年次生を対象とする中級セミナー。博士論文に向けての研究計画、調査計画に関わる指導を行う。	対面(オンライン併用型)
02DC677	民俗学研究II A	2	1.5	4	春ABC	応談	人社 B717	武井 基晃, 徳丸 亜木, 中野 泰	4年次生を対象とする中級セミナーの後半。博士論文の完成を目標として、論文執筆に関わる指導を行う。	対面(オンライン併用型)
02DC678	民俗学研究II B	2	1.5	4	秋ABC	応談	人社 B717	武井 基晃, 徳丸 亜木, 中野 泰	4年次生を対象とする中級セミナーの後半。具体的な調査データに基づいて博士論文の全体構成を検討する。	対面(オンライン併用型)
02DC679	民俗学研究III A	2	1.5	5	春ABC	応談	人社 B717	武井 基晃, 徳丸 亜木, 中野 泰	5年次生を対象とする上級セミナー。博士論文の完成を目標として、概要および課題について指導を行う。	対面(オンライン併用型)
02DC680	民俗学研究III B	2	1.5	5	秋ABC	応談	人社 B717	武井 基晃, 徳丸 亜木, 中野 泰	5年次生を対象とする上級セミナー。実際に論文を執筆しながらさらに研究課題を明確化し、博士論文を完成させる。	対面(オンライン併用型)
02DC733	文化人類学研究I A	2	1.5	3	春ABC	応談	人社 B817	木村 周平	3年次生を対象として、学生各自が博士論文の研究課題に沿って民族誌および理論について発表する。	対面(オンライン併用型) 英語と日本語で授業。 Cモジュールは英語を用いる
02DC734	文化人類学研究I B	2	1.5	3	秋ABC	応談	人社 B817	木村 周平	3年次生を対象として、学生各自が博士論文の研究課題に即して対象社会の情報を分析し、発表する。	対面(オンライン併用型) 英語と日本語で授業。 Cモジュールは英語を用いる
02DC735	文化人類学研究II A	2	1.5	4	春ABC	応談	人社 B817	木村 周平	4年次生を対象として、博士論文の執筆に向けて、学生各自がフィールドワークで収集した資料を整理・分析して発表する。	対面(オンライン併用型) 英語と日本語で授業。 Cモジュールは英語を用いる
02DC736	文化人類学研究II B	2	1.5	4	秋ABC	応談	人社 B817	木村 周平	4年次生を対象として、学生各自が博士論文の研究課題に即して対象社会の情報を分析し、比較考察した成果を発表する。	対面(オンライン併用型) 英語と日本語で授業。 Cモジュールは英語を用いる
02DC737	文化人類学研究III A	2	1.5	5	春ABC	応談	人社 B817	木村 周平	5年次生を対象として、学生各自が博士論文の研究課題およびその構成を発表する。	対面(オンライン併用型) 英語と日本語で授業。 Cモジュールは英語を用いる
02DC738	文化人類学研究III B	2	1.5	5	秋ABC	応談	人社 B817	木村 周平	5年次生を対象として、学生各自が博士論文について民族誌の記述、理論に関わる分析を発表する。	対面(オンライン併用型) 英語と日本語で授業。 Cモジュールは英語を用いる
02DC743	民俗学特講I-A	1	1.0	1・2					民俗学における信仰伝承研究に関わる先端的な研究動向を主に歴史民俗学的研究の立場から把握する。受講者それぞれの関心に応じた問題を析出し、議論を踏まえた上で、分析を行い得る能力を高める。	西暦奇数年度開講。 OABACL0と同一。 オンライン(同時双方向型)
02DC744	民俗学特講I-B	1	1.0	1・2					「祖先祭祀研究・葬制研究の現在」をテーマとして、日本および東アジアの葬制に関する民俗学および文化人類学の研究について、比較民俗学、ならびに歴史民俗学的研究視角からの講義を行う。また関連する論文を講読し、検討することでテーマに関する研究視角・方法論を学ぶ。	西暦奇数年度開講。 OABACL1と同一。 オンライン(同時双方向型)

02DC745	民俗学特講II-A	1	1.0	1・2					本講義では、主として日本の「漁業」の民俗を対象に、民俗学初期の古典的研究から精読を行い、輪読形式で、その枠組みと方法を批判的に検討しながら、民俗学的視角と方法を展望する。	西暦奇数年度開講。 0ABACL2と同一。 隔週開講。対面
02DC746	民俗学特講II-B	1	1.0	1・2					本講義では、「漁業」をとりまくサブシステムの動態を対象に、領域横断的な研究例の検討を行う。日本に事例を主として、日本以外の例をも参照し、今日の「漁業」研究の視角と方法について展望することを目的とする。	西暦奇数年度開講。 0ABACL3と同一。 隔週開講。対面
02DC747	民俗学特講III-A	1	1.0	1・2	春AB	金2		武井 基晃	東アジアの民俗社会において、人々は神々といかに交渉し対話しているか、信仰対象の背景にいかなる記憶や文脈があるのかについて考える	西暦偶数年度開講。 01DQ335, 0ABACL4と同一。 対面
02DC748	民俗学特講III-B	1	1.0	1・2	秋AB	金2		武井 基晃	家族という研究対象について、変容、暮らし、ジェンダー、教育、労働、福祉、死、グローバルなど様々な方向からのアプローチを検討し、理解する。	西暦偶数年度開講。 01DQ336, 0ABACL5と同一。 対面
02DC749	民俗学演習I-A	2	1.0	1・2	春AB	木2		徳丸 亜木	民俗学における信仰伝承研究を踏まえ、民俗学ならびに関連分野の論文を講読し、受講者それぞれの研究関心からの検討を加える。民俗学における信仰伝承研究に関わる基本的な学識を主に歴史民俗学的研究の立場から把握し、問題を析出し、議論を踏まえた上で、分析を行い得る能力を高める。	西暦偶数年度開講。 0ABACL6と同一。 オンライン(同時双方向型)
02DC750	民俗学演習I-B	2	1.0	1・2	秋AB	木2		徳丸 亜木	主に歴史民俗学的視点に関わる民俗学研究ならびに、歴史学・文化人類学・社会学・宗教学など関連領域の研究から文献を選び、講読し、批判的に検討する事により、参加者各々が歴史民俗学的研究に関する知見を深め、方法論の検討を行う。	西暦偶数年度開講。 0ABACL7と同一。 オンライン(同時双方向型)
02DC751	民俗学演習II-A	2	1.0	1・2	春AB	火5,6		中野 泰	柳田国男、宮本常一、桜田勝徳を取り上げ、高度経済成長期以前における民俗誌的試みを、フィールドワークやフィールドノートも含めて対象化し、民俗(族)誌の意義と可能性について検討する。	西暦偶数年度開講。 01DQ345, 0ABACL8と同一。 隔週開講。対面
02DC752	民俗学演習II-B	2	1.0	1・2	秋AB	火5,6		中野 泰	占領期、高度経済成長期に現れた民俗(族)誌、及び、1990年代以降、近年の試みとして、領域横断的、あるいは、実験的な試みを、民俗学、社会学、人類学等から取り上げ(英語文献を含む)、民俗学的フィールドワークに基づく民俗(族)誌の意義と可能性について検討することを目的とする。	西暦偶数年度開講。 01DQ346, 0ABACL9と同一。 隔週開講。対面
02DC753	民俗学演習III-A	2	1.0	1・2					戦後台湾の民俗誌・事例をふまえ家族という研究対象について様々な方向から理解し、民俗学における民俗誌の分析を検討する。	西暦奇数年度開講。 0ABACM0と同一。 オンライン(同時双方向型)
02DC754	民俗学演習III-B	2	1.0	1・2					戦前から戦中の日本統治下における台湾の社会と民俗・信仰について、当時の資料・民俗誌を講読することで理解する。特に、地域社会と人々の信仰のあり方に直結した寺廟整理に着目し、この政策がどのように始まり、地域社会にいかにか受容され、具体的にどのような手続きがなされたのかについて、当事者の生の記録を通して読み解く。これに関連して同時期の台湾において日本人・台湾人を交えた台湾の民俗の調査・研究の機運の高まりとその成果についても取り扱う。	西暦奇数年度開講。 0ABACM1と同一。 オンライン(同時双方向型)
02DC755	文化人類学特講I-A	1	1.0	1・2	春AB	火5		木村 周平, 佐本英規, 中村 友香	この授業では、文化人類学的な研究を進める上での基礎として、文化人類学における諸理論や諸研究手法について、仔細に検討し、議論する。取り上げるものは機能主義や構造主義、解釈人類学など、文化人類学における中心的なアプローチである。	西暦偶数年度開講。 0ABACM2と同一。 対面(オンライン併用型)
02DC756	文化人類学特講I-B	1	1.0	1・2	秋AB	火5		木村 周平, 佐本英規, 中村 友香	この授業では、文化人類学的な研究を進める上での基礎として、文化人類学における諸理論や諸研究手法について、仔細に検討し、議論する。取り上げるものは科学技術論や存在論的転回など、文化人類学において近年現れてきたアプローチである。	西暦偶数年度開講。 0ABACM3と同一。 対面(オンライン併用型)
02DC757	文化人類学特講II-A	1	1.0	1・2					現代の文化人類学の課題や理論的な動向について学ぶ。特に1980年代以降に焦点を当て、その時代に提起された課題とそれへの応答として起きた変化、およびその後の新しい考え方や方法を理解する。授業では、こうした動向の形成に大きな影響を及ぼした著作や代表的な論文を取り上げ、そこで何が問題とされ、どのようなことが論じられているか、またどのようなスタイルで調査や記述が行われているかを把握し、それに対して自分自身がどのような立ち位置を取るかを考える。	西暦奇数年度開講。 0ABACM4と同一。 対面(オンライン併用型)

02DC758	文化人類学特講II-B	1	1.0	1・2					現代の文化人類学の課題や理論的な動向について学ぶ。特に科学技術社会論と呼ばれる研究群が現代の人類学に与えた理論的・方法的な影響に焦点を当て、この分野の独自性や方向性の形成に大きな影響を及ぼした著作や代表的な論文を取り上げ、そこで何が問題とされ、どのようなことが論じられているか、またどのようなスタイルで調査や記述が行われているかを把握し、その可能性と限界、および自分自身がどのような立ち位置を取るかを考える。	西暦奇数年度開講。 OABACM5と同一。 対面(オンライン併用型)
02DC759	文化人類学演習I-A	2	1.0	1・2					人間を環境世界・周囲世界の中においてポストヒューマンの視点から再考する。本演習では、脱人間中心の倫理学の可能性をポストヒューマンの多様な視点から考察し議論する。	西暦奇数年度開講。 OABACM6と同一。 対面(オンライン併用型)
02DC760	文化人類学演習I-B	2	1.0	1・2					本演習は民族誌の可能性について考察をした後、人類学的な問いを立てて、これを民族誌を書くことを通して、その答えを示唆する訓練を行う。演習では民族誌を分解してその構成について議論し、民族誌を書いて、建設的な批判を行う。	西暦奇数年度開講。 OABACM7と同一。 対面(オンライン併用型)
02DC76A	文化人類学演習II-A	2	1.0	1・2	春AB	木3		木村 周平, 佐本英規, 中村 友香	文化人類学の主要なテーマを取り上げ、代表的な著作、論文を取り上げて講読することで、文化人類学の考え方やアプローチについて具体的に学ぶ。この授業では特に古典的なテーマに焦点を当て、受講者全員で指定した文献の講読と議論を行うことで、広汎かつ体系的な理解を得るとともに、近年提出されている概念や理論についても検討し、その可能性と限界、および自分自身の研究をどう位置づけるかを考える。	西暦偶数年度開講。 OABACM8と同一。 対面(オンライン併用型)
02DC76B	文化人類学演習II-B	2	1.0	1・2	秋AB	木3		木村 周平, 佐本英規, 中村 友香	文化人類学の主要なテーマを取り上げ、代表的な著作、論文を取り上げて講読することで、文化人類学の考え方やアプローチについて具体的に学ぶ。この授業では特に現代的なテーマに焦点を当て、受講者全員で指定した文献の講読と議論を行うことで、広汎かつ体系的な理解を得るとともに、近年提出されている概念や理論についても検討し、その可能性と限界、および自分自身の研究をどう位置づけるかを考える。	西暦偶数年度開講。 OABACM9と同一。 対面(オンライン併用型)
02DC76C	民俗学・文化人類学実習-A	3	2.0	1	春C	応談		佐本 英規, 徳丸 亜木, 木村 周平, 武井 基晃, 中野 泰, 中村 友香	1年次生を対象として、フィールドワークの方法論を実践的に学ぶ。フィールドワークの深め方と総合化等、今後の民俗学研究・文化人類学研究の基礎となる研究法を訓練する。民俗学・文化人類学領域全教員による指導を受け、研究テーマについての発表に基づき、参加者による討論を行う。フィールドや調査テーマについての自主学習の計画や共同学習をコーディネートする。	OABACN0と同一。 対面(オンライン併用型)
02DC76D	民俗学・文化人類学実習-B	3	2.0	1	秋C	応談		佐本 英規, 徳丸 亜木, 木村 周平, 武井 基晃, 中野 泰, 中村 友香	1年次生を対象として、修士論文に向けたフィールドワークの実践的遂行能力を養う。フィールドや調査テーマについての自主学習の計画や共同学習のコーディネートを継続し、実習前に予備調査を行う。民俗学・文化人類学領域全教員による指導を受け、1週間程度のフィールドワークを行い、フィールドワークで得られた資料を基について報告書を作成する。	OABACN1と同一。 対面(オンライン併用型)
02DC76L	民俗学・文化人類学研究実習-A	3	2.0	1	春C	応談		木村 周平, 徳丸 亜木, 武井 基晃, 中野 泰	1年次生を対象として、民俗学・文化人類学領域全教員による指導のもと、博士論文作成に向けてフィールドワークの方法論を実践的に学ぶ。実習に関わる事前学習会、フィールドの選定並びに予備調査に主体的に関わり、調査と研究の方法全般についてより高度な訓練を行う。	OBBADL6と同一。 対面(オンライン併用型)
02DC76M	民俗学・文化人類学研究実習-B	3	2.0	1	秋C	応談		木村 周平, 徳丸 亜木, 武井 基晃, 中野 泰	1年次生を対象として、民俗学・文化人類学領域全教員による指導のもと、博士論文作成に向けたフィールドワークの実践的遂行能力を養う。実習に関わる事前学習会、フィールドの選定並びに予備調査、本調査、事後学習会に主体的に関わることにより、特定地域のフィールドワークとその報告、フィールドワークの実務、およびフィールドワークの指導方法を学ぶ。研究テーマに即したレポートや論文の執筆を課す。	OBBADL7と同一。 対面(オンライン併用型)